令和８年度　第２回　豊岡小学校運営協議会　会議録（要点記録）

1　開催日時　令和８年９月 18 日（金）13 時 55 分から 15 時 15 分まで
2　開催場所　豊岡小学校　相談室
3　出席委員　中川秀三、疋田和俊、鈴木登志郎、大津和也、細川健太郎、相曽司、野末のぞみ、夏目悦子
4　欠席委員　井上麦
5　オブザーバー　夏目聖（三方原協働センター）
6　学校支援コーディネーター　奥田真理
7　学　　校　泉澤伸広（校長）、松井康子（教頭）、池谷崇仁（主幹教諭）、宮﨑祐実（ＣＳディレクター）
8　教育委員会　清水悠（学校・地域連携課）
9　傍聴者　なし
10　会議録作成者　ＣＳディレクター宮﨑祐実
11　議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、相曽委員が立候補し、全員異議なくこれを承認した。

12　協議事項
(1)　学校評価アンケートについて
(2)　学校、家庭、地域の役割分担について
13　会議記録

司会の相曽委員から、委員総数９人のうち８人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)　学校評価アンケートについて

議長の指示により、池谷主幹教諭から別紙資料に基づき学校評価アンケートの実施計画について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・アンケート結果を今後学校でどのように活用していくかを知りたい。過去の数値と比較していくことはよいことである。アンケートは、学校運営基本方針にある内容を解決するために実施するものでもあるから、今後、アンケートの在り方や項目も変更していく必要があるのではないか。（大津委員）
・アンケート項目は教員にも意見を出してもらう方がよいと思う。（野末委員）
・教師用アンケート（教育課程アンケート）のような項目について、保護者は、どこに意見を記述しているのか。（疋田委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2)　学校、家庭、地域の役割分担について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき学校、家庭、地域の役割分担について、及び校長から業務量管理に関わる現在実施している取組の具体についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

・学校側の役割が多い。保護者の役も増やした方がよい。ただ、学校が担わなくてもよい業務を保護者や地域のボランティアありきで議論をすることや、そこばかりに期待をすることは少し違うのではないか。行政側も対応が必要である。（鈴木委員）
・保護者もこの現状を知ってほしい。（野末委員）

・学校側、家庭側、地域側、それぞれの意見があるが、学校側の負担が多いのではないか。それぞれの立場から見たら、相手側にしてもらいたいことがあるのではないか。（大津委員）
・学校側だけでは無理なので、行政、教育委員会と連携をとる必要がある。（疋田委員）
・労働環境の悪化に対して是正しなければならない。（中川委員）
・もっとボランティアの存在を知ってもらうことが必要。ボランティアの様々な活動を知らない人も多いので、参加する人、利用する人、どちらも増えるとよいのではないか。（夏目委員）
・学校側と保護者側の思いや考えのすり合わせが必要だと感じる。（細川委員）
・それぞれの立場の思いや考えを共有することが大事だと思う。（相曽委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

学校支援コーディネーター兼委員の野末委員から、活動予定・報告があった。

また、教頭から、次回会議は 11 月 27 日（金）13 時 15 分から児童と共に学校コンサートの鑑賞をし、14 時 10 分から豊岡小相談室で第３回協議会を開催する旨の報告があった。